

材料施工委員会「小委員会委員」公募

材料施工委員会では、下記の小委員会委員を公募します。参加を希望される会員は募集要領に従い、ふるってご応募ください。

■募集要項

下記の(1) (2)を作成のうえ E-mail にてご提出ください。

(1) 希望の小委員会

(2) 応募者について

- ①会員番号、氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mail アドレス、専門分野
- ②現在、本会で所属している委員会の有無、応募中の委員会の有無（有の場合は委員会名を記すること）
- ③希望小委員会で果たせる役割（1,000 文字以内）
- ④希望小委員会に関連する業績（1,000 文字以内）

委員任期 承認日～2019年3月

応募締切 2017年3月10日（金）必着

採 否 委員会で決定のうえ本人に通知します。

提出先 事務局事業G 浜田 E-mail: hamada@aij.or.jp

.....

■鉄骨精度測定小委員会 [鉄骨工事運営委員会]

主 査 : 加賀美安男（日建設計）

募集人員 : 若干名

設置期間 : 2017年4月～2021年3月

活動目的 : 本小委員会は、建築鉄骨の加工および製品の寸法精度および測定要領に関する調査・研究を行い、それらの成果を JASS6 付則 6 の解説本である鉄骨精度測定指針に公表することによって、鉄骨造建物の品質および性能の維持と向上を目指すことを目的とする。成果を公表することにより、より良い品質・性能を確保した製作技術に関する知見を建設社会に向けて発信する。

■JASS7 改定小委員会 [組積工事運営委員会]

主 査 : 川上勝弥（小山工業高等専門学校）

募集人員 : 若干名

設置期間 : 2017年4月～2021年3月

活動目的：メーソンリー工事を取り巻く昨今の動向として、関連する JIS、告示等の改正並びに構工法の進展などとの整合を図る必要が生じてきたため、本会建築工事標準仕様書・メーソンリー工事（JASS7）を改定し、2020 年度に改定発刊予定である。その改定作業を行うための小委員会である。

■コンクリートブロック新工法研究小委員会 [組積工事運営委員会]

主 査：川上勝弥（小山工業高等専門学校）

募集人員：若干名

設置期間：2017 年 4 月～2021 年 3 月

活動目的：JIS A 5406（建築用コンクリートブロック）は、建築の一般材料として建物、塀、帳壁等様々な用途に用いられている。しかし、ブロック塀に見られるように、大地震で塀が転倒し、最悪の場合人命を損なう結果が生じている。これは、コンクリートブロックの性質を正しく理解し、それに応じた施工が行われていないことが明らかである。ここでは、コンクリートブロックの施工方法に着目し、コンクリートブロックの使用および施工方法について検討し、施工方法の改善、新しい施工方法の提案を行う。

■メーソンリーユニット試験方法研究小委員会 [組積工事運営委員会]

主 査：千歩 修（北海道大学）

募集人員：若干名

設置期間：2017 年 4 月～2021 年 3 月

活動目的：メーソンリーユニットの試験方法については実施の困難なものや透水試験方法のように根拠の不明なものが多い。また、耐久性等の性能を評価するための試験方法や耐震診断時の CB の強度を評価する試験方法等については適切な方法が規定されていない。ここでは、メーソンリーユニットの各種性状を評価する試験方法について検討し、試験方法の改善、新しい試験方法の提案を行う。

■地下外壁外防水仕様評価小委員会 [防水工事運営委員会]

主 査：岡本 肇（竹中工務店）

募集人員：若干名

設置期間：2017 年 4 月～2019 年 3 月

活動目的：2016 年度までの地下外壁外防水小委員会で、これまで JASS や指針で扱われていなかった地下外防水のあり方の提示を試みていたが、評価方法の設定が不十分であった。そこで引き続き、この仕様評価小委員会において評価方法を確立し、より指針に近づけた書籍化をすることを目的として活動を行う。

■**建築生産スマートイノベーション小委員会** [建築生産運営委員会]

主 査：武藤正樹（建築研究所）

募集人員：若干名

設置期間：2017年4月～2021年3月

活動目的：ICTの建築生産へのさらなる浸透をスマートイノベーションと据え、スマートイノベーションを迎える建築生産の生産性を定義し、評価する方法を検討することを目的とする。

■**CA技術小委員会** [建築生産運営委員会]

主 査：井上文宏（湘南工科大学）

募集人員：若干名

設置期間：2017年4月～2021年3月

活動目的：建築施工の生産性向上に資する自動化技術、システム技術などのコンストラクションオートメーション（CA）技術の研究開発を啓蒙・促進するための調査研究及び技術交流等の活動を行う。具体的活動の内容としては、①建築の自動化技術シンポジウムの企画・開催、②ワークショップの企画・開催、③次世代CA技術に関するWGにおける調査研究、④関連国内外における諸団体との交流・共同活動，国際会議共催を実施する。